

自分に自信をもち、地域に誇りをもつ 心豊かな子どもの育成

伝統・地域

【キーワード】

伝統芸能の継承 森と花 体験と体感 読書文化
協働 自信と誇り



伝統芸能「獅子舞」を主体的に受け継ぎ、新たな学びを通して、自らの生き方や新しい価値に気づく。

学校の森や花栽培をはじめとする自然に親しんだりする活動を通して、環境保全に向けての実践的な態度を育てる。

生きる力の基礎となる心豊かな読書力を育成し、保護者、地域と連携した読書文化をつくる。



①地域の伝統芸能「獅子舞」の継承活動の推進

伝統芸能「獅子舞」を平成8年から地域の獅子舞保存会の方から指導を受け、4年生以上が主体となって、笛、太鼓、獅子舞、神楽舞の技を練習し、継承活動に取り組んでいる。その中で約350年前の伝統芸能の意味と継承の大切さに気づき、地域に伝えていく活動を行っている。今年度10月に、新潟文化祭で獅子舞を披露する予定である。

②学校の森や花栽培を中核とする自然体験活動の推進

平成17年から生活科や総合的な学習の時間を中心に、国語や理科、道徳などに関連づけながら学校の森「いこいの森」で自然体験活動を始めた。また、わかばスターズ班（全校縦割り班）で、花や野菜の栽培を行っている。「いこいの森」での自然学習や遊び、畑の収穫物の料理や落ち葉や木の実を利用した造形など、体験だけで終わらせずに、書いたり、話し合ったりすることを大切にしている。

③保護者・地域と連携した読書文化の創造

教師だけでなく、保護者、地域ボランティア、市立図書館職員、わかばスターズ班などが、様々な



読み聞かせを行っている。また、一人、読書で過ごすことを大切に、「本と対話」のできる子どもが育つように読書活動を推進している。これらの活動を保護者と連携し、「家読」（うちどく）を親子でも実践し、読書文化の創造を目指している。

▶ Outcome 成果と課題



伝統芸能や自然体験活動、読書活動において地域の人から学ぶ、先輩から学ぶなどしながら、継続することで自分に自信をもち、自分の考えを表現できるようになっている。

▶ Transformation

実践による変化

児童アンケートの結果、「学校や地域がすきである。」98%、保護者アンケートの結果、「学校は地域の特色を生かした取り組みを進めている。」100%、「学校ではエコ活動に進んで取り組んでいる。」98%であった。

学校・保護者・地域のかかわりを大切にしたESDを進めている成果である。地域の人とかかわり、学ぶことを通して「協働」することが充実してきている。

学校名：見附市立新潟小学校（いがたしょうがっこう）
 校長名：太田 敬祐（おおた けいすけ） 児童数：93名
 住所：〒954-0006 新潟県見附市新潟町2478番地
 電話：0258-62-0685 対象学年：全学年
 教科・領域：特別活動 生活科 総合的な学習の時間 等
 連携校・団体：[獅子舞活動] 会津若松市立川南小学校
 柏崎市 綾子舞クラブ
 [自然体験活動] 伊達市立柱沢小学校
 伊達市立粟野小学校 伊達市立堰本小学校



子どもたちは、ESDの取り組みを通して、自分一人ではなく、友達・保護者・地域の人と活動することの素晴らしさとともに心強さ、そしてともに「協働」することのパワーの大きさは十分に認識している。この力が一人ひとりの自信と誇りになり、「できる」という気持ちを強くもてるようになってきている。